

令和元年度専門学校ユマニテク医療福祉大学校

学校関係者評価報告書

学校法人みえ大橋学園専門学校ユマニテク医療福祉大学校学校関係者評価委員会は、令和2年2月10日に「令和元年度学校自己評価表」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

令和2年2月10日作成
学校法人みえ大橋学園
専門学校ユマニテク医療福祉大学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員（出席者）

1. 南出 光章（一般社団法人 三重県理学療法士会 会長）
2. 丸山 幸子（医療法人博仁会 介護老人保健施設ひまわり 副施設長）
3. 明星 隆希（ユマニテク医療福祉大学校 同窓会しおかぜ 会長）
4. 和田 欣子（専門学校ユマニテク医療福祉大学校 学校長）
5. 服部 利春（専門学校ユマニテク医療福祉大学校 事務長）
6. 小出 益徳（専門学校ユマニテク医療福祉大学校 副校長）
7. 田中 宏明（専門学校ユマニテク医療福祉大学校 理学療法学科長）

以上7名

2. 令和元年度 自己評価

項目	評価・課題
(1) 教育理念・目標	評価：(平均点、3.4点/20点) 課題：就労現場において、関係する人々との信頼関係が築けるような態度や接遇を十分に身につけていない。 改善策：学内における接遇の徹底と、実習における接遇面の指導を重点的に実施していく。

(2) 学校運営	<p>評価：(平均点、3.6点/32点)</p> <p>課題：教職員の就業規則の周知が不十分である。</p> <p>改善策：教職員の就業規則をいつでも閲覧できるよう、準備する。</p>
(3) 教育活動	<p>評価：(平均点、3.7点/56点)</p> <p>課題：学生の学習支援および生活支援のため、業務多忙であり、専門知識向上のための研修会への参加が困難であった。</p> <p>改善策：教育に関する学会や研修会へ、積極的に参加する。</p>
(4) 学修成果	<p>評価：(平均点、3.4点/20点)</p> <p>課題：退学率低減への著しい変化は認められなかった。また、卒業生からの意見聴取によるカリキュラム内容の変更を実施するに至らなかった。</p> <p>改善策：卒業生からの意見聴取の機会を検討し、今後のカリキュラムの見直しに取り組む。</p>
(5) 学生支援	<p>評価：(平均点、3.7点/40点)</p> <p>課題：学生相談室を設けているが、利用頻度は低い。</p> <p>改善策：学生相談室の案内を頻回に行い、相談員の顔を学生に知ってもらう機会を作ることから始める。</p>
(6) 教育環境	<p>評価：(平均点、3点/12点)</p> <p>課題：規定備品の入替や新規購入計画的に実施しているが、時間を要する。震災時には、地域住民の避難場所であるが、備蓄は不十分である。</p> <p>改善策：規定備品の入替や新規購入計画的に実施する。</p>
(7) 学生の受け入れ募集	<p>評価：(平均点、3.3点/12点)</p> <p>課題：オープンキャンパス及びガイダンス等、適切に行っているが、参加者は減少傾向にある。</p> <p>改善策：高校生に対して魅力あるオープンキャンパスやガイダンスとなるよう、教員と広報担当者が協力する。</p>
(8) 財務	<p>評価：(平均点、3.5点/16点)</p> <p>課題：学生数の減少により収益は減額している。</p> <p>改善策：高等教育の就学支援制度の対象校となった。入学時の優遇制度を導入して入学生の増加につなげたい。</p>
(9) 法令等の遵守	<p>評価：(平均点、3.5点/16点)</p> <p>課題：規定備品の老朽化により、入れ替えが必要な備品</p>

	<p>が混在している。</p> <p>改善策：規定備品の入れ替えを計画的に実施し、学習環境を整備する。</p>
<p>(10) 社会貢献・ 地域貢献</p>	<p>評価：(平均点、3.3点/12点)</p> <p>課題：学生のボランティア活動を奨励・支援しているが、参加者は多くない。</p> <p>改善策：地域清掃活動、企業・団体等への会場貸しを行い、地域住民のための避難ビルとして認定されている。</p>

3. 令和元年度 学校関係者評価 (令和元年度の自己評価についての評価)

項目	評価・課題
<p>(1) 教育理念・目標</p> <p>「理念・目的・育成人材像は定められているか」</p>	<p>適切である。</p>
<p>(2) 学校運営</p> <p>「目的等に沿った運営方針が策定されているか」</p>	<p>適切である。</p>
<p>(3) 教育活動</p> <p>「教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか」</p>	<p>適切である。</p>
<p>(4) 学修成果</p> <p>「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」</p>	<p>適切である。</p>
<p>(5) 学生支援</p> <p>「学生相談に関する体制は整備されているか」</p>	<p>適切である。</p>
<p>(6) 教育環境</p> <p>「施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか」</p>	<p>適切である。</p>

<p>(7) 学生の受け入れ募集</p> <p>「学生募集活動は適正に行われているか」</p>	<p>適切である。</p>
<p>(8) 財務</p> <p>「財務について会計監査が適正に行われているか」</p>	<p>適切である。</p>
<p>(9) 法令等の遵守</p> <p>「法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか」</p>	<p>適切である。</p>
<p>(10) 社会貢献・ 地域貢献</p> <p>「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか」</p>	<p>適切である。</p>

4. 学校関係者評価 総括と課題について

項目	評価・課題
<p>自己評価結果についての全体的な評価・意見等</p>	<p>大項目で「適切」といった場合においても、小項目でひとつでも不適切であった項目に対しては、今後、課題を解決しつつ改善に努めていただきたい。また、各業界のニーズに対しては、教育課程編成委員会、学校内の委員会等でしっかり議論をしていただき、教育に反映していただきたい。</p>